

# 安城の上・下水道、 強さのヒミツ

市では、大規模災害時も安心して水道や下水道を使っていただけるよう、日頃から上・下水道の大規模災害対策を実施しています。その強さのヒミツを紹介します。

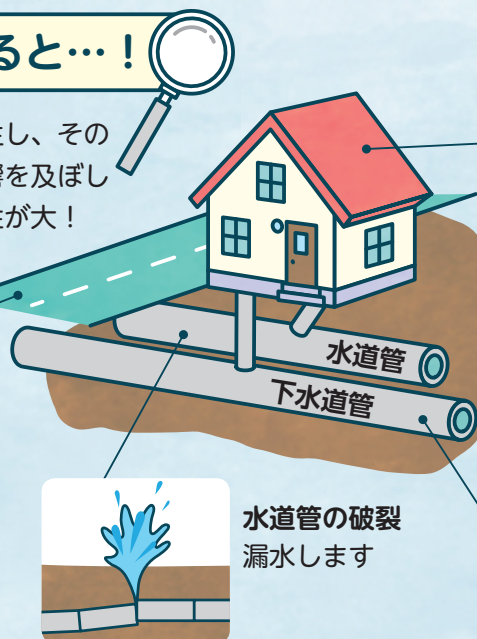
図▶水道工務課(☎71)2250)、下水道課(☎71)2248)

## 大規模災害が発生すると…!

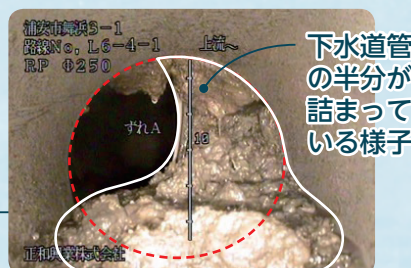
液状化等で道路に大きな被害が発生し、その下にある水道管や下水道管にも影響を及ぼします。特に古い管は破損する可能性が大!



**液状化** 地盤が液体のように柔らかくなります(写真提供 香取市)



**断水** 水道が使えなくなります



**下水道管の破損** トイレや台所等の水が流れなくなります

(写真提供 浦安市)

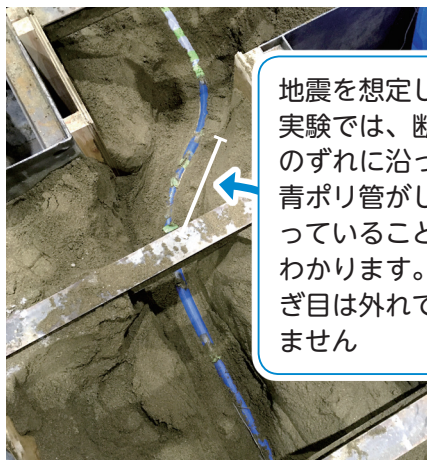
でも大丈夫!

**安城の上・下水道はとても強いんです!**

### その理由①

#### 曲げてもし折れない水道管

大規模災害に強い水道管とするため、水道管には、曲げてもし折れない強度と耐震性をもつ樹脂性の青色の管「配水用ポリエチレン管」(青ポリ管)の使用を進めています。



地震を想定した実験では、断層のずれに沿って、青ポリ管がしなっていることがわかります。継ぎ目は外れていません

(写真提供 配水用ポリエチレンパイプシステム協会)

### その理由②

#### 断水時の給水を保保

大規模災害が起こると、各戸で水道水が出なくなる(断水)可能性があります。

断水時、安城市では北部浄水場・南部浄水場・中部配水場から、市保有の2台の給水車で市内の各避難所へ市民のための水を届けます。また、多くの避難所には「応急給水栓」が設置してあります。これに組立式の蛇口とホースを接続することで、皆さんに水を配ることができるようになります。



水道工務課  
石田



大規模災害発生時、他の自治体からも給水車が派遣される協定を結んでいます

各家庭での  
水の備えも忘れずに  
お願いします



安城市上・下水道  
若手プロジェクトチーム  
「ASF」(※)がレポート

## 災害を想定した訓練も しっかり行っています!

(※)「ASF」: ANJO SEWER(下水道の意)/SUIDO FUTUREの略。  
皆さんに上・下水道について知ってもらうため、啓発・広報活動に取り組んでいます。



浄水管理事務所 加藤

災害時に、一部の避難所で水道管に破断が生じ、応急給水が必要になったと想定。安城市上下水道災害時支援連絡協議会と合同で、組立式の蛇口とホースを接続し、給水車からの給水を行っています



下水道管の破損確認や修繕をしたり、停電で下水を流すマンホールポンプが停止したと想定し、非常用発電機で稼働させたりする訓練を行っています

下水道課 坂野

## 上・下水道クイズ!

Q 1. 人が1日に使う水の量は?

①100ℓ ②200ℓ ③300ℓ

Q 2. 災害時のために備えておくべき1日分の水の量は?(1人あたり)

①1ℓ ②2ℓ ③3ℓ

Q 3. 災害時に飲料・食料と同じく備えておく良いものは?

①携帯トイレ ②テレビゲーム ③マンガ

Q 4. 大規模災害時、避難所に行けば水がもらえる?

①もらえる ②もらえない

答え)Q 1.③ Q 2.③ Q 3.①

Q 4.①(速やかに水を配る体制は整っていますが、緊急時には何が起きるかわかりません。また、水を求める人で大変な混雑が予想されます。各家庭で災害時用の水の備蓄をお願いします)

～災害時用の水の備えについて、各家庭で話し合っておきましょう～



### その理由③

#### 二重構造の下水道管

昭和50年代に設置された古い下水道管は、内側に新しい管を形成して二重構造とし、補強しています。また、新しく設置する下水道管は、地震に耐える設計となっています。

### その理由④

#### 液状化対策

大規模災害時に万が一、地中の液状化が発生してもマンホールが浮き上がらないよう、浮上防止対策を進めています。

